

# 竹とんぼ作り

1 所要時間 2～2.5時間

2 服装 活動しやすい服装

## 3 準備物

- ・ 利用者 軍手、新聞紙、上ぐつ
- ・ 施設側 (1) ・切り出しナイフ 200 ※左利き用切り出しナイフも貸出可能。

・用具 (40セット)

品名	数量	品名	数量	品名	数量
工作台	1	木づち	1	なた	1
布	1	四つ目ぎり	1		

(2) 材料 ・ 施設側で準備する場合

竹	羽根：長さ 約11cm 軸：長さ 約16cm
---	---------------------------

※ 利用者側で竹材を準備する場合は、所定の長さに切っておいた方が、時間を節約できる。

※ 活動時間の短縮や作業難度の調整のため軸を作らず、竹串を持ち込んでも良い。

## 4 活動のながれ

分	活動内容
0	センター職員による全体説明 (野外活動棟ホールA)
20	●必要な材料・用具の受け取り、数量の確認
30	① なたと作業台、木づちを使って竹を割る。 ② 切り出しナイフで羽を作る。
90	③ 軸を作る。
120	④ 羽根の調整、仕上げ
150	●用具の数を確認し返却、片付け、そうじ 職員の点検

## 5 活動場所 野外活動棟ホール（A、B）

## 6 活動の流れ

分	係	内容	活動	引率・指導者	施設職員	その他
				参加者の誘導 事前説明		
0		集合・説明	集合・説明 (野外活動棟ホールA)	活動の運営 補足説明	諸注意 ※活動の流れの 説明	
20～		◎用具貸し 出し	必要な材料・用具の受け取 り、数量の確認	用具係の選出 材料・用具の確認 制作場所の指示	材料・用具の受 け渡し	制作場所 に新聞紙 を敷く。
30～ 90～ 120～		制作	① 羽作り ② 軸作り ③ 調整・仕上げ	制作運営  活動終了時間の設定	制作補助  バランス調整 片付けの説明	
(約30分間)		◎片付け・ そうじ	用具返却、片付け、そう じ 職員の点検	返却用具の第1次点 検 清掃指導 保管方法の指示	返却用具の第2 次点検・受け取 り	モップや ほうきで 清掃

◎ 職員による利用団体へ用具の貸し出し、返却時の第2次点検を主として行う。(第1次点検は利用団体で行う。)

※ 利用団体の要望に応じて、施設職員から大まかな作業工程について説明をすることができる。

## 7 作り方

### 羽づくり

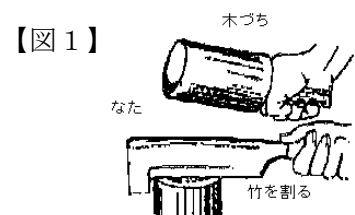
(1) 新聞紙の上に布を敷き、その上に工作台を置く。工作台の上に竹筒をのせ、その上になたを置き、木づちでたたいて半分に割る。

羽用の竹筒（長さ約11cm）を約2cmずつ割っていく。

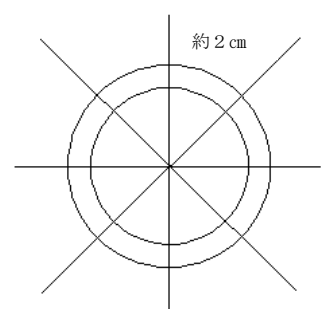
※ 竹筒1本で8～12枚とれる【図1、2】

(2) ものさしを使って中心をとり、きりで穴をあける。

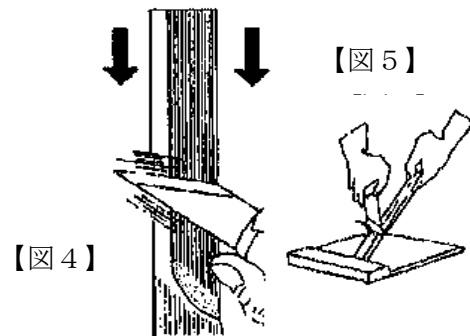
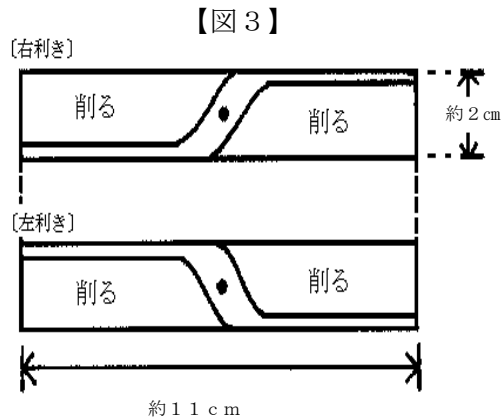
※ きりで穴をあける場合は、垂直になるように注意する。



【図2】



- (3) 右利きの方は羽根が右下がりになるように、左利きの方は羽根が左下がりになるように、斜めに薄く削る。【図3、4】
- (4) ナイフを固定し、竹材を手前に引いて削る。  
※ 工作台を使う場合は【図5】参照。
- (5) 裏返して、同じように薄く削る。 ※ 厚さは2mm以下



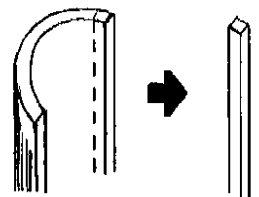
#### 【竹を削るときの注意】

- (1) ももの上にナイフを固定し、竹を引いて削るのが基本である。  
※ ナイフを動かすと、けがをしやすいため注意すること。
- (2) ナイフは素手で持ち、竹を持つ方の手は必ず軍手を着用する。

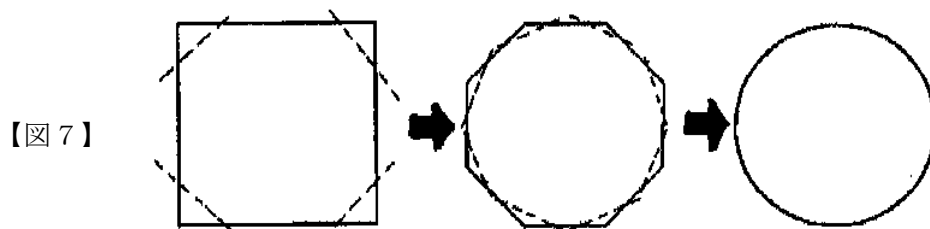
#### 軸づくり

- (1) 羽づくりと同様に、なたと木づちを使って、竹筒を竹の肉厚と同じになるように割る。【図6】

【図6】



- (2) 【図7】のように角を繰り返して削りながら円柱にする。



- (3) 全体のバランスを考えながら、自分の使いやすい太さにする。

## 仕上げ

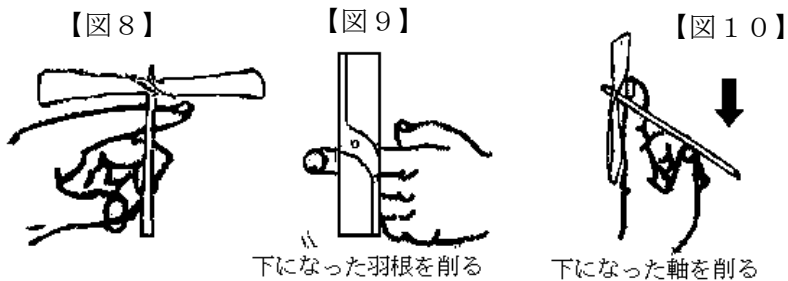
削った羽根に軸を付けた後、軸の部分を指に乗せて、バランスがとれているかどうか確認し、調整する。【図8】

### (1) 羽根の左右のバランス

左右のバランスがとれていないと、重い方の羽根が下になる。重い方の羽根を削って、水平になるようにする。【図9】

### (2) 羽根と軸のバランス

羽根と軸のバランスがとれていないと、羽根か軸の重い方が下になる。下になった方を削って、水平になるようにする。【図10】



### (3) 飛ばし方

【うまくとばない原因として】	【対策】
・竹とんぼが全体的に重い。	→ 全体的に削る。
・左右の羽根のバランスが悪い。（長さ、厚さ）	→ 左右の羽をそろえる。
・羽根と軸のバランスが悪い。	→ 重い方を削る。
・とばし方が悪い。	→ 上手な人のまねをする。

※ 飛ばす時は、周囲の安全を確認してから行う。